

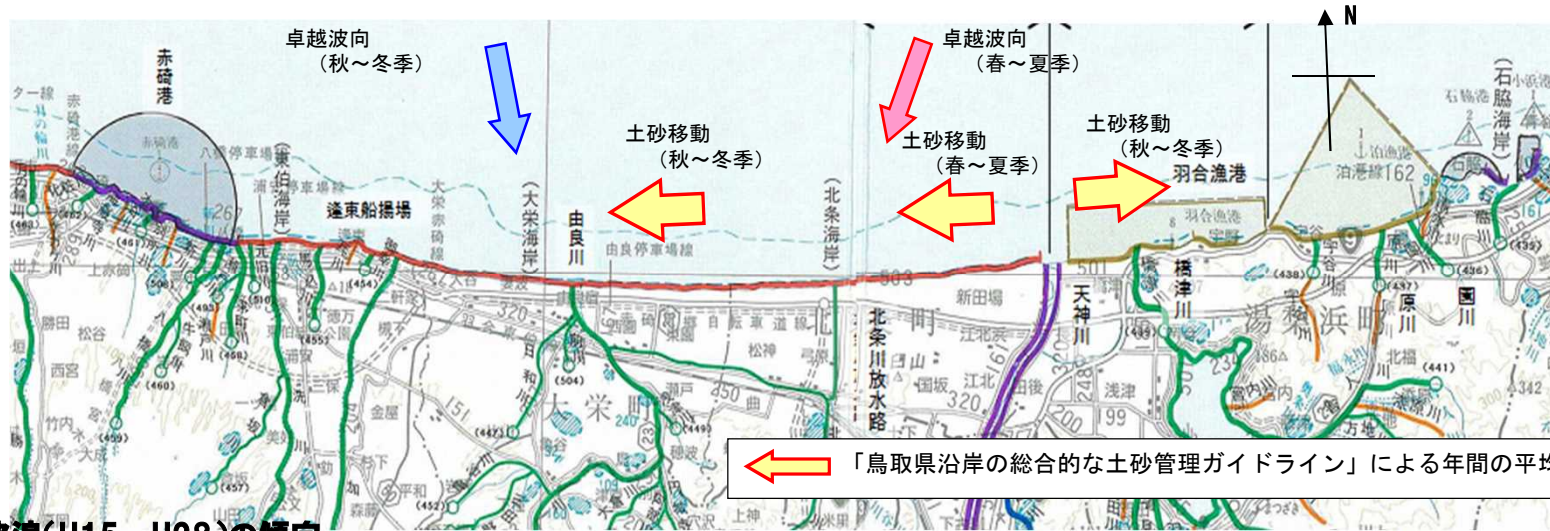
平成29年度
鳥取県中部沿岸土砂管理連絡調整会議
＜要旨＞

H29年8月撮影

平成29年10月31日(火)
鳥 取 県

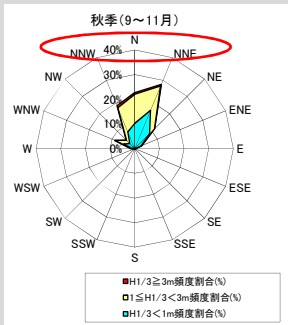
対象範囲の波浪・漂砂移動について

説明資料 1-1 参照

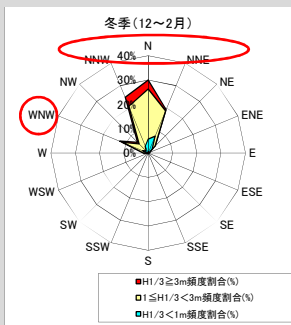


近年波浪(H15～H28)の傾向

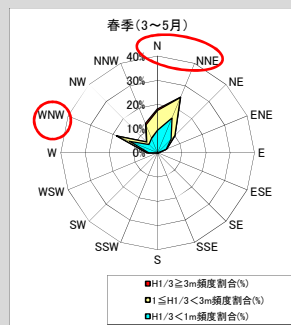
秋[9～11月]



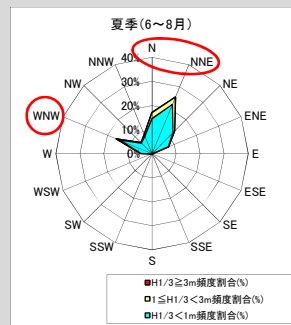
冬[12～2月]



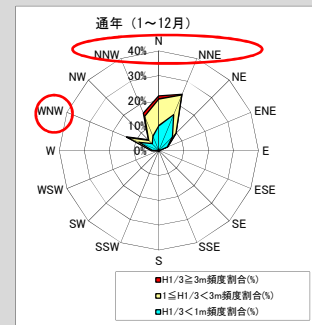
春[3～5月]



夏[6～8月]

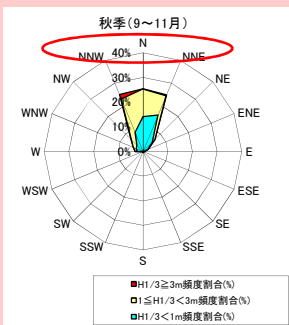


年間

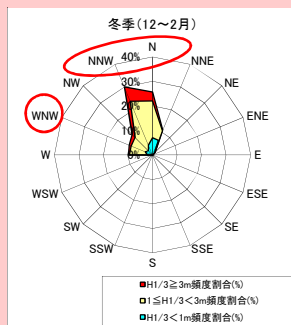


昨年度(H28)の波浪傾向

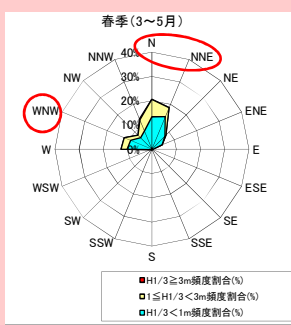
秋[9～11月]



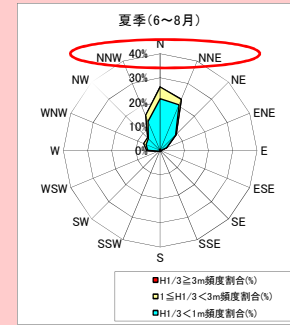
冬[12～2月]



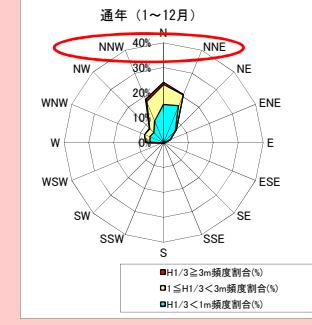
春[3～5月]



夏[6～8月]



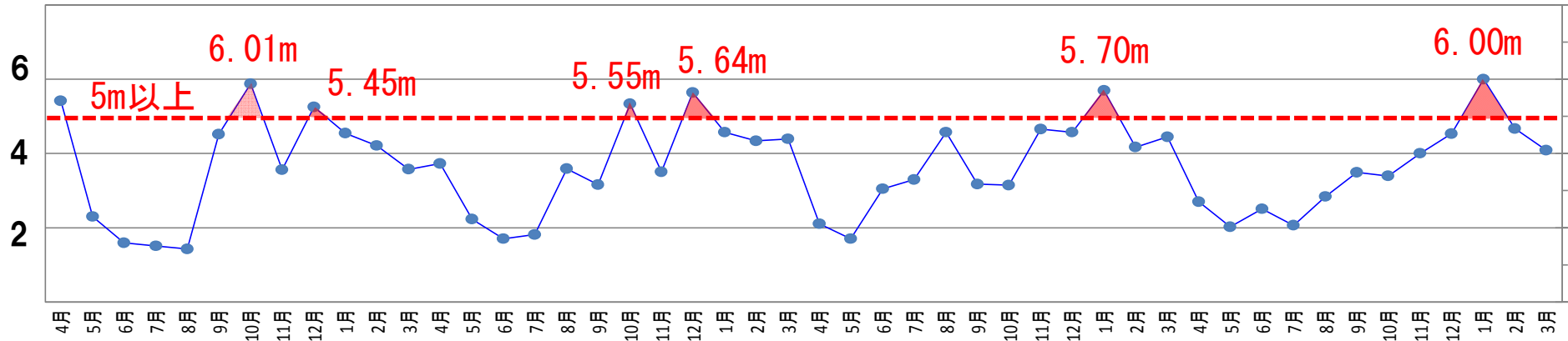
年間



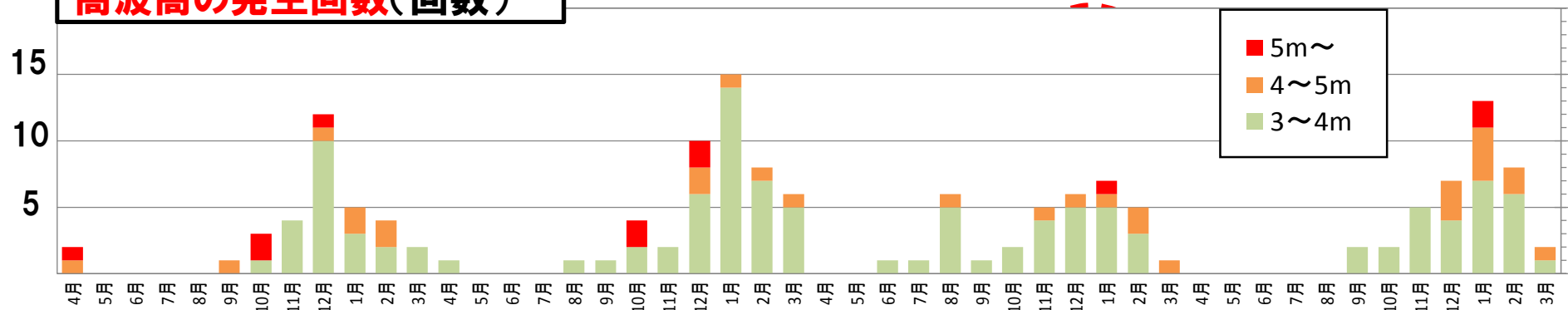
対象範囲の波高について

説明資料 1-2参照

月毎の最高波高(m)



高波高の発生回数(回数)



春～夏季

秋～冬季

春～夏季

秋～冬季

春～夏季

秋～冬季

春～夏季

秋～冬季

平成25年度

平成26年度

平成27年度

平成28年度

①天神川左岸地区(天神川河口左岸～北条川放水路右岸)



H29年9月撮影

H29年8月1日撮影



東郷池

はわい長瀬

天神川

東新田場

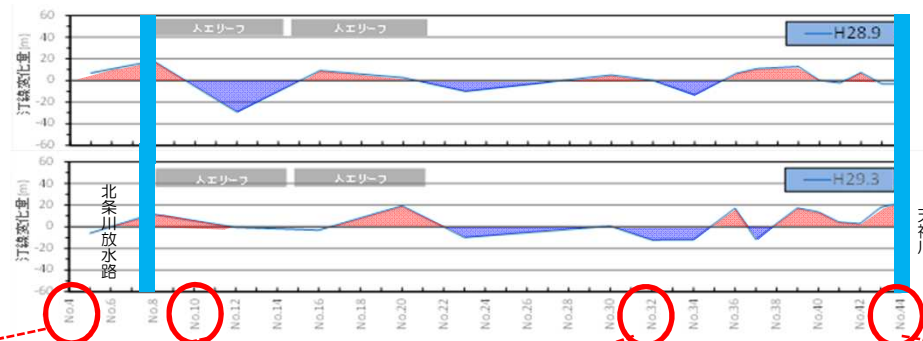
北条川放水路→

①天神川左岸地区(天神川河口左岸～北条川放水路右岸)

説明資料 3-1～3-5 参照

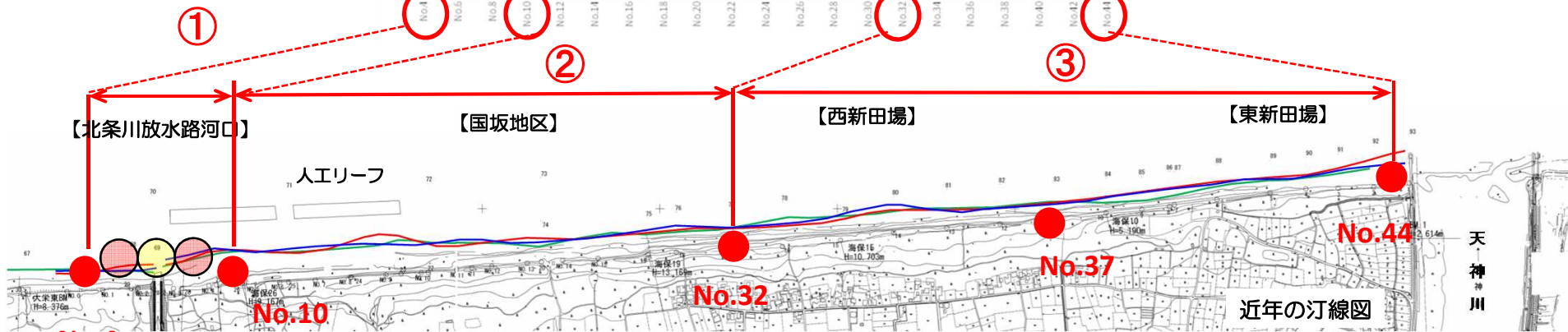
平成28年度 天神川左岸地区の長期汀線変化状況図(平成15年9月基準)

H15年9月	
H28年3月	
H29年3月	



H28年度

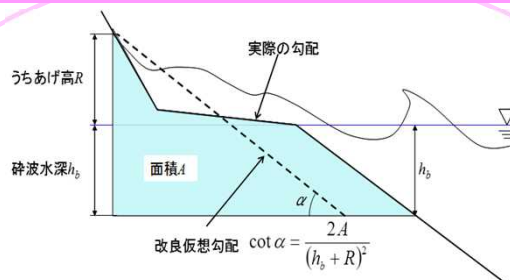
- : 採取位置
- : 投入位置



	①(北条川放水路河口)	②(国坂地区)	③(西新田場～東新田場)
長期的な変化 (H15→H28)	サンドリサイクルにより安定傾向	人工リーフの東側で侵食傾向	西新田場で侵食傾向が見られる
過年度の対策 (H15～H27)	サンドリサイクル	リーフ整備(H15に整備完了) サンドリサイクル	サンドリサイクル
本年度の対策 (H29)	サンドリサイクル	—	—
短期的な変化 (H27→H28)	大きな変動なし	大きな変動なし	大きな変動なし
来年度の対策予定 (H30)	サンドリサイクル	必要に応じサンドリサイクル	必要に応じサンドリサイクル

- H15～28年度 サンドリサイクル量86,604m³(年平均 6,186m³)、H28年度 1,188m³
- 西新田場は汀線後退が見られるため、現場状況を注視し、場合によってはサンドリサイクルも検討

『防護』で必要な浜幅 ⇒ 25m



『環境』に適した浜幅 ⇒ 施工配慮



海浜に生息する動植物、「白砂青松の海岸」、「山陰海岸国立公園」等の景勝地に影響のない浜幅を検討。

越波防止の観点・過去の海岸侵食状況を考慮して設定。
 ※越波防止に関しては「中村の仮想勾配法」による波のうちあげ高を算出。

『利用』に適した浜幅 ⇒ 40m

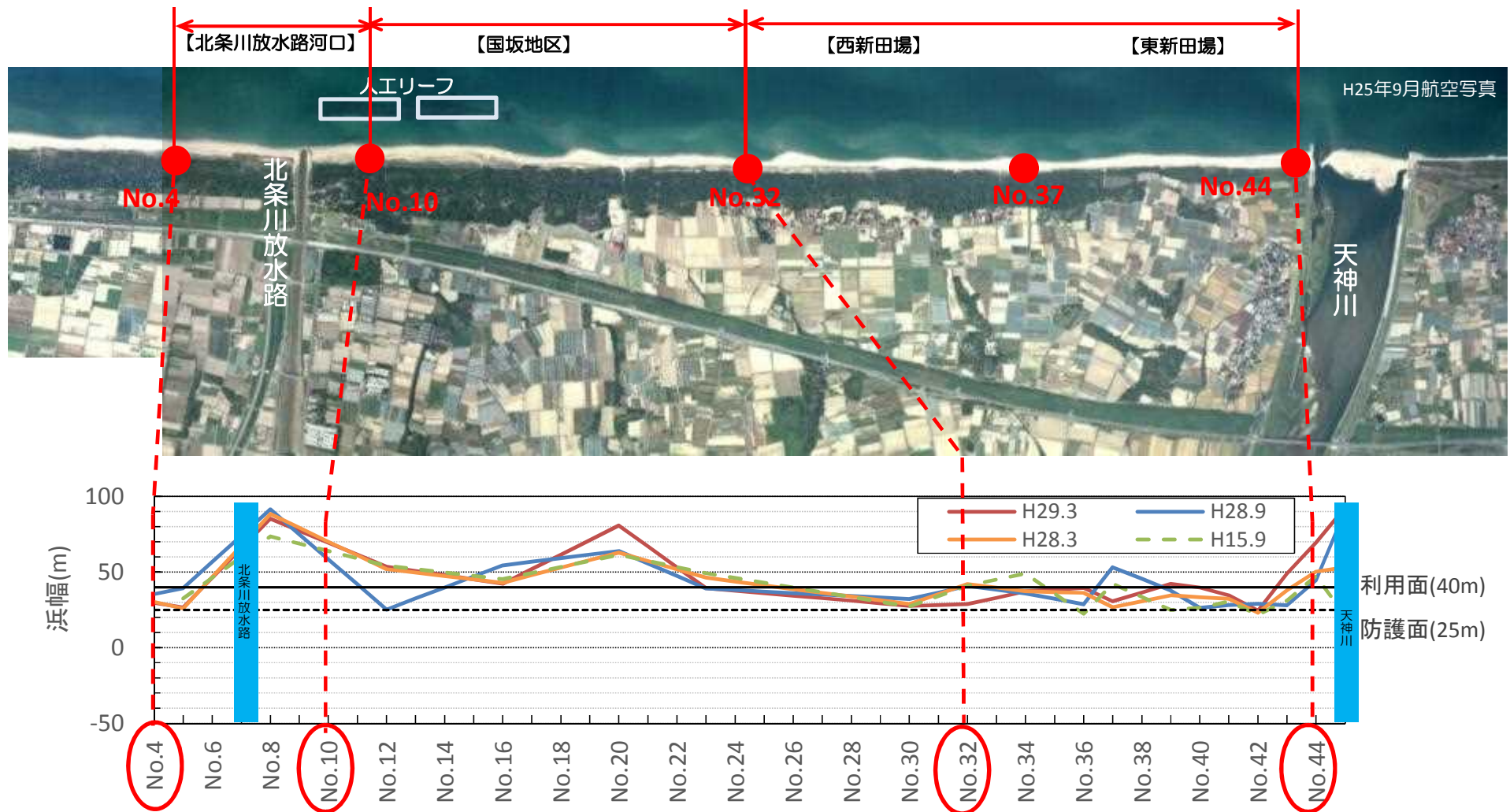


海水浴場・地引網・キャンプ等の海浜レクリエーションで利用しやすい浜幅を検討。

「国土交通省港湾局監修(2005.10):ビーチ計画・設計マニュアル(改訂版)」海水浴客の海浜幅に対する評価より、40mと設定。

①天神川左岸地区 (天神川河口左岸～北条川放水路右岸)

説明資料 3-7 参照



○ 利用 ... 海水浴場としての利用はなし

○ 防護 ... 国坂～東新田場付近は、季節毎に汀線変動が大きい注視が必要。

②由良川左岸地区(由良川河口～逢東船揚場)

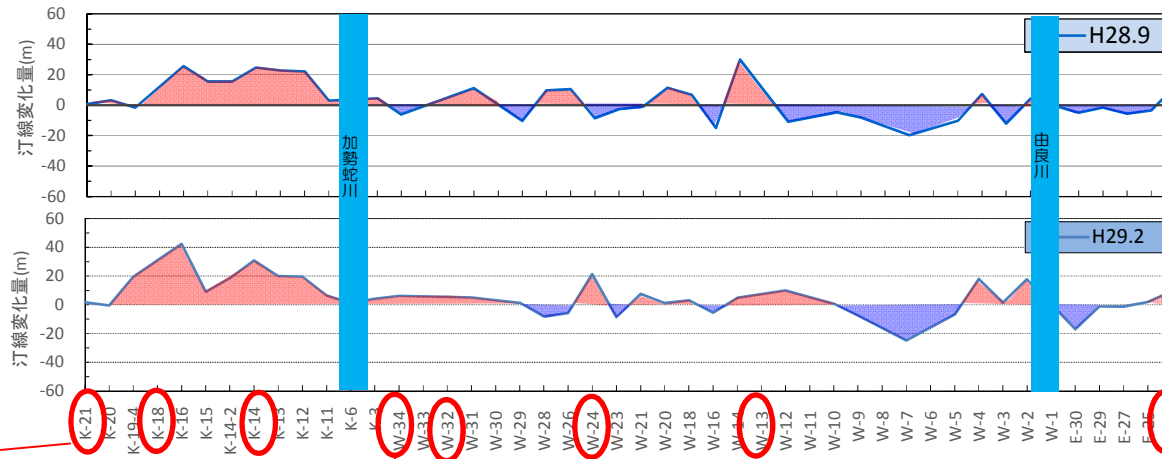
H27年10月5日撮影



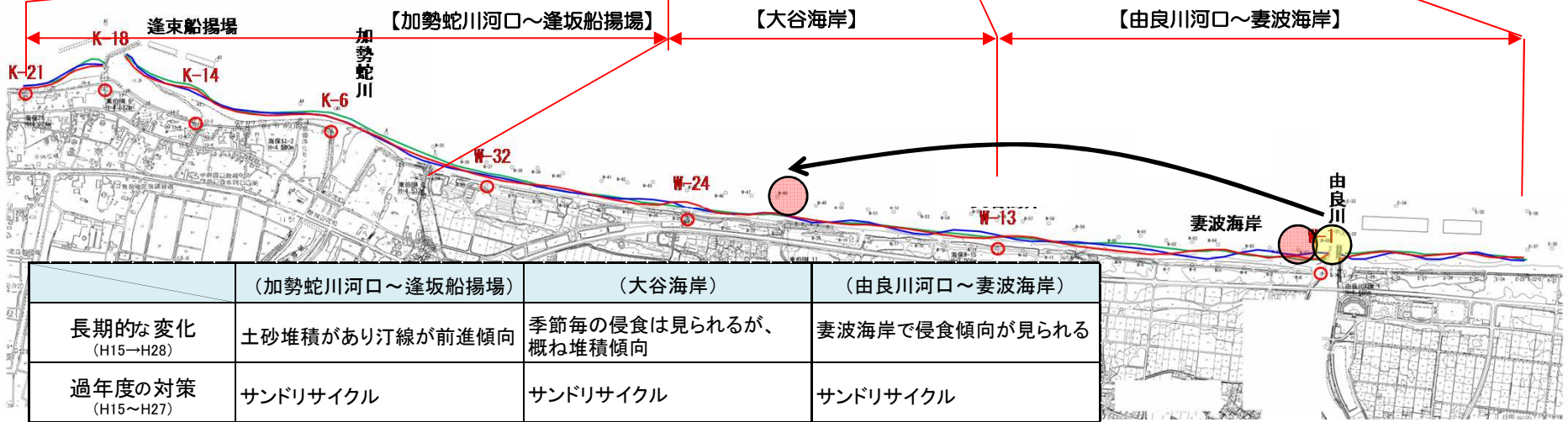
②由良川左岸地区(由良川河口～逢東船揚場)

説明資料 3-10～3-12参照

H15年9月	
H28年3月	
H29年3月	



H28年度
 : 採取位置
 : 投入位置

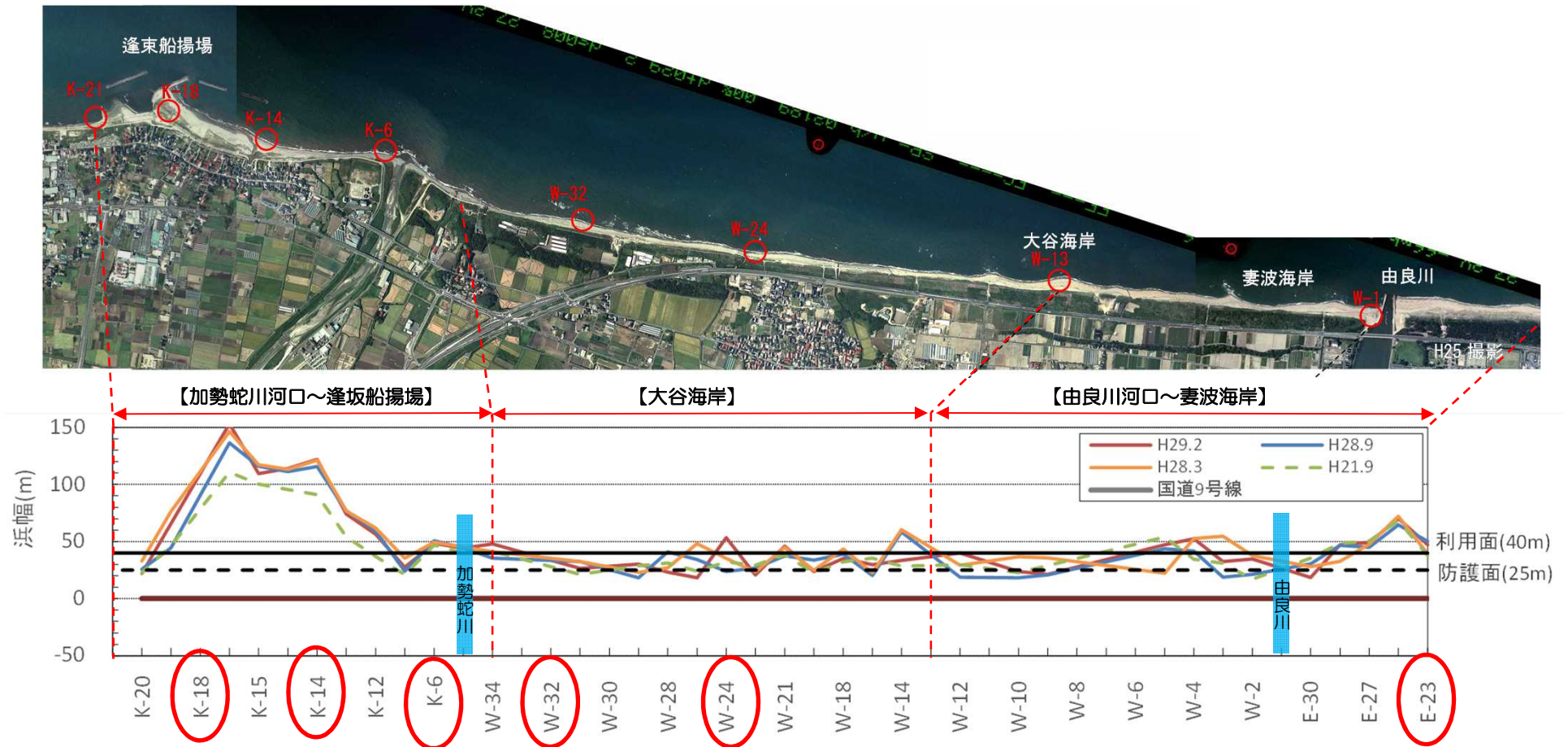


	(加勢蛇川河口～逢坂船揚場)	(大谷海岸)	(由良川河口～妻波海岸)
長期的な変化 (H15→H28)	土砂堆積があり汀線が前進傾向	季節毎の侵食は見られるが、概ね堆積傾向	妻波海岸で侵食傾向が見られる
過年度の対策 (H15～H27)	サンドリサイクル	サンドリサイクル	サンドリサイクル
本年度の対策 (H29)	—	サンドリサイクル	サンドリサイクル
短期的な変化 (H27→H28)	大きな変動なし	大きな変動なし	大きな変動なし
来年度の対策予定 (H30)	サンドリサイクル	サンドリサイクル	サンドリサイクル

- H15～28年度 サンドリサイクル量158,244m³(年平均 11,170m³)、H28年度 2,629m³
- 妻波海岸は汀線後退が見られるため、現場状況を注視し、場合によってはサンドリサイクルも検討

②由良川左岸地区(由良川河口～逢坂船揚場)

説明資料 3-13参照



○ 利用 …… 海水浴場としての利用はなし

○ 防護 …… 大谷海岸・由良川河口右岸の一部で局所侵食がみられるため継続的に観察が必要

③天神川右岸地区(天神川河口右岸～橋津川左岸)



H28年10月7日撮影

離岸堤

人工リーフ

羽合海水浴場

羽合漁港

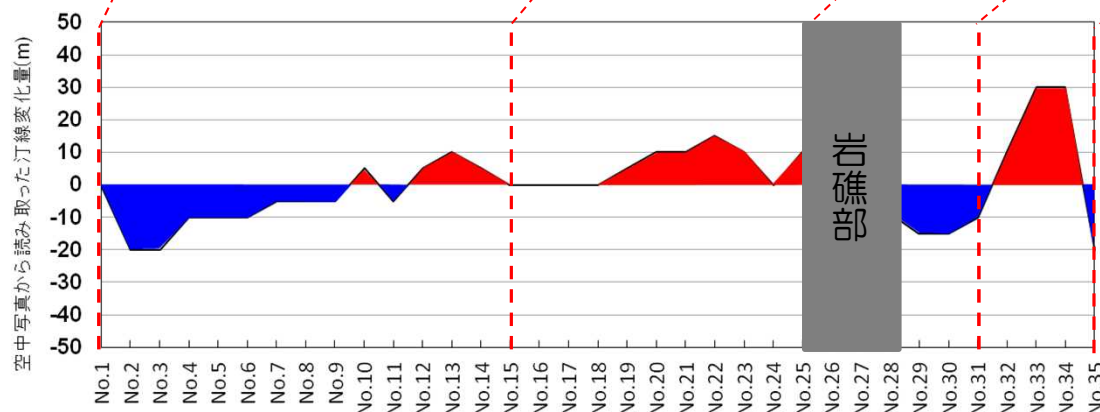
橋津川

H29年8月1日撮影

③天神川右岸地区(天神川河口右岸～橋津川左岸)

説明資料 3-15参照

H25年9月航空写真



H20 - H25比較

- 天神川河口の右岸 (No.1～No.9)で海岸侵食が進行傾向にある。
- 橋津川右岸では堆積傾向。
(H23～H24 湯梨浜町からの依頼で海水浴場の養浜をした経緯あり)
- 宇野にて侵食傾向 (No.28～No.31)であるが海水浴場に支障なし。